

# 第 1 学年国語科学習指導案

日 時 平成 16 年 7 月 7 日 (金) 5 校時  
児 童 男子 4 名 女子 12 名 計 16 名  
授業者 丹 康 浩

1. 教材名 「こんな ほんを みつけたよ」(光村図書 1 年上)

2. 教材について

(1)教材について

本教材は、読書している絵場面と、「ぐりと ぐら」のお話の 1 部分の紹介で構成されている。一時では、教師の読み聞かせや教科書の「ぐりと ぐら」の挿絵を見ながら物語のおもしろさを学び、読書に対する興味を膨らませる。二時では、教室の中に用意された絵本の中から、自分の読みたい本を見つけ読む活動を行う。易しい読み物や児童らが興味を持つであろう本や図鑑等を集める。また、自由で多彩な読書空間を教室内に環境として整える。そうすることによって、読みたいものを選び、読み物の世界に目を向けさせ、読書の楽しさを味わわせていく。そして、三、四時では、二時で読んだ絵本をみんなに紹介する活動を行い、さらに読書に対する興味を持たせる。紹介によって興味も持った本の読書へと発展させていく。選んだものを読んだり、読んでもらって聞いたりする経験と楽しさを積み重ね、読書の楽しさを学ぶ教材である。

(2)児童について

児童らは、朝読書の時間に教師が選んだ絵本や紙芝居の読み聞かせを聞いてきた。また、「おはなしよんで」の教材でも、教師が選んだ昔話や童話の絵本の読み聞かせを聞いてきている。多くの児童は、読み聞かせを聞くことを楽しんでいる。

5 月になってから、本格的に学校図書館の本を 1 年生も借りられるようになり、喜んで借りている児童がほとんどである。ひらがなの読み書きの学習は、拗音、促音、長音、撥音を含めて一通り学習してきたので、ある程度自分で易しい読み物を読むことができるが、文字を追うことに懸命になっており、物語や話の展開を楽しむことができない児童は少なくない。中には、自分で絵本を読み、楽しむ児童もみられるし、給食後のひとときに、学校図書館コーナーに集まっては、文字のない図鑑やカードを眺めて楽しむ児童もいる。

このように、絵本や図鑑を見たり、読み聞かせを聞いたりすることは楽しいと感じているが、自分で読み進めていく能力と本や図鑑での興味、読書の楽しみ方では個人により大きな違いが見られる。

(3)指導にあたって

教材を通して、児童が自分で本を選び、一人で読んだり、友達と一緒に読んだり見たりできるようにしていきたい。自分で本を選ぶことはできても、読むことが難しい児童も多いので、教師に読み聞かせをしてもらい本の楽しさを感じ取れるようにさせていきたい。また、一人では読書が難しいが、友達と一緒に本を見る楽しさを感じ取れる児童も多いと思われる。そのために、児童の能力と興味・関心にあった絵本や図鑑を教室環境に用意しておく。本や図鑑が多すぎたり、背表紙だけが見えるようでは選ぶことが難しいので、できるだけ表表紙が見える状態や本の中身が見えるように開いておくなどして 40 冊ほど読書環境として設置する。また、一人で、または友達と一緒に読めるなどのいろいろな読み方ができるように、集える場としてのコーナーを用意する(寝ながら本を見たりできる場としてのコーナーと寄り添って友達と本を見たりできるコーナー)。もちろん、自分で読むことより教師に読み聞かせをしてもらいたい児童には、選んだ本を読み聞かせていく場の設定など、自由で楽しい雰囲気の中で読書体験ができるように心がけていきたい。

### 3. 教材の目標

先生が読むお話を聞いたり，好きな本をみつけて見たり読んだりして，読書の楽しさを知る。

### 4. 教材の指導計画（学習指導計画 4 時間）

時	学 習 活 動	関心・意欲・態度	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
一時	「どんな本を読もうかな。」 ・「ぐりとぐら」がどんなお話か，教科書を見て想像する。 ・教師が読む「ぐりとぐら」を聞き，本に興味を持つ。					
二時	「本を探して読もう。」 本時 ・学級にある本から，見たり読んだりしたい本を探す。 ・自分や友達がみつけた本を，見たり読んだり聞いたりする。					
三 四 時	「本の紹介をしよう。本を探して読もう。」 ・書名と感想やどんなお話をみんなの前で話し，本の紹介をする。 ・友達の紹介を参考にして本を選び，見たり読んだり聞いたりする。					

は主目標。

### 5. 本時の指導

#### (1) 目標

好きな本をみつけて見たり読んだり聞いたりして，読書の楽しさを味わう。

#### (2) 本時の評価

##### ・評価規準

見たり読んだりしたい本をみつけ，楽しもうとしている。

具体的評価規準	Aの状況の具体的姿	Cの状況への手だて
自分で読みたい本をみつけ，見たり読んだり聞いたりし，一人または，友達と読書を楽しんでいる。	自分で読みたい本をみつけ，興味をもって見たり読んだり聞いたりし，本の楽しさを味わいながら読んでいる。 ----- ・複数の読みたい本を見つけ，最後まで見たり読んだりしている。 ・友達と絵本のことについて会話しながら見たり読んだりしている。 ・読んだ本の楽しかったところを、みんなに伝える。	・本に興味を持ってない児童には，ブックトークなどを行い，読みたい本を一緒に見つけてあげる。 ・自分で本を探せない児童には，友達や教師と一緒に探すようにする。 ・自分で読むことが難しい児童には代わって読んであげるようにしていく。

(3) 展開

過程	学習活動	教師の働きかけ ・予想される児童の反応	支援上の留意点 <b>評価</b>
導入 15分	1 前時の「ぐりとぐらのおはなし」の学習を想起する。 2 日直が選んだ本の読み聞かせを聞き、本に興味を持つ。 3 学習課題を把握する。	前の時間に勉強したのは、どんなおはなしでしたか。 ・「ぐりとぐら」のおはなし 日直さんが選んだ本を、読みます。どんなおはなしかな。 ・そのおはなし、読んだことあるよ。 ・おもしろいおはなしかな。	読み聞かせでは挿絵にも注目させていく。 児童の反応を大切にすること。 学級にある本の中から、自分で見たり読んだりしたい本を見つけることを知らせる。 友達と一緒に見たり、教師に読んでもらったりしてもよいことや友達の迷惑にならないければ、好きな場所で好きな姿勢で読んでもよいことなどを知らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>ほんをみつけて みたり よんだり きいたり しよう</b> </div>			
展開 25分	4 自分で本を探し、見たり読んだり聞いたりする。	教室の中にある本の中から自分で読みたい本を探して、見たり読んだり聞いたりしよう。 ・どんな本を読もうかな。 ・あの本が読みたいな。 ・友達と一緒に読みたいな。	自分で探した本を一人または友達と見たり読んだりする楽しさを感じ取らせるための時間を確保した後で読み聞かせしていく環境を用意する。 本を探せない児童には、一緒に探しながらも児童に選ばせるようにする。 読んでほしい児童には、快く応じる。 自分なりに読んだり見たりしている児童は、認めていく。 自分で読んだり見たりすることが難しかったり、飽きたりした児童には代わって読んであげるようにしていく。 自分のペースで読書が楽しめるようにしていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">             自分で読みたい本を見つけ、見たり読んだり聞いたりし、一人または、友達と読書を楽しんでいる。           </div> <div style="text-align: right; margin-top: 2px;">〔観察〕</div>
まとめ 5分	5 読書の感想を発表する。 6 次時の予告を聞く。	読みたい本を見つけることができましたか。 どんな本を読んだか教えてください。 次の時間は、自分が読んだ本を友達に紹介します。	読書した感想を話させた後、児童を具体的に認めるようにしていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">             お話を楽しむことができたか。〔発表・挙手〕           </div> 自分が見たり読んだり聞いたりした本の中から、友達に知らせたい本を紹介し読書への意欲付けを図る。